

## △使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1.本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと  
他の瀉下薬（下剤）

2.授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

3.大量に服用しないこと



### 相談すること

1.次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

(1)医師の治療を受けている人。

(2)妊婦または妊娠していると思われる人。

(3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(4)次の症状のある人。  
はげしい腹痛、吐き気・嘔吐

2.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛、吐き気・嘔吐

3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

下痢

4.5～6日服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

併用すべきでない一般用医薬品の薬効群を記載しています。併用した場合には医薬品の作用の増強、副作用の増強等が考えられます。

本剤に配合されているダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳に移行し、乳児の下痢を起こすことがあります。

大量に服用すると腸管粘膜への刺激が大きくなり、腸管粘膜に炎症があらわれることがあります。

共通事項解説〔3〕参照

共通事項解説〔4〕参照

本剤は、大腸刺激性の緩下成分（ダイオウ）を含み、妊婦または妊娠していると思われる婦人が服用すると子宮収縮作用および骨盤内臓器の充血作用により、流・早産を誘発するおそれもあるので、担当医師の指導のもとに服用すべきであり、本剤を服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談する必要があります。

共通事項解説〔5〕参照

便秘時には、腹痛や吐き気・嘔吐はよくみられる症状です。しかし、腸管の狭窄、閉塞、腹腔内臓器の炎症などでも、便秘とともに、「はげしい腹痛や吐き気・嘔吐」を伴うことがあります。このような場合に瀉下薬（下剤）を服用すると腸管の狭窄、閉塞、腹腔内臓器の炎症などの症状を悪化させるおそれがあるので、本剤を服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談する必要があります。

本剤の服用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

この症状は、服用を一時中止すれば消失するものですが、症状の持続または増強が見られた場合には、他に原因があることも考えられるので、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

5～6日服用しても症状がよくなる場合は、他に原因があることも考えられます。症状がよくなるまま服用を続けると悪化することも考えられるため、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

【使用上の注意】

【解 説】

共通事項解説はこちら

5.1 ヶ月以上連続して服用する場合は、医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

瀉下薬（下剤）は、長期間（1 ヶ月以上）服用すると習慣になりやすく、しだいに用量を増加しないと効きにくくなる傾向にありますので、長期に連続して服用する場合には、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

<用法・用量に関連する注意>

(1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

共通事項解説〔6〕参照

(2)用法・用量を厳守すること。

共通事項解説〔7〕参照

しだいに用量を増加しないと効きにくくなる傾向にありますので、なるべく服用間隔をあけて服用し、1日最大服用量（15歳以上：4錠）を超えないよう注意が必要です。

(3)次の人は服用量を控えめにすること。  
体の衰弱している人、月経時の人

- ・体の弱っている人は、一般に代謝・排泄機能が衰えているため、本剤の作用が強くあらわれるおそれがあるので注意が必要です。
- ・本剤は、大腸刺激性の緩下成分を含み、月経時の婦人では、骨盤内臓器に充血をきたし経血量を増やすおそれがあるので注意が必要です。

(4)錠剤の取り出し方 PTP品について

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる）。



共通事項解説〔8〕参照

<成分に関連する注意>

ダイオウにより、尿が橙色ないし赤色を帯びることがありますが、心配ありません。

尿は食物などの影響で酸性になったり、アルカリ性になったりするものです。  
ダイオウ中の成分により、尿が酸性の時は橙色に、アルカリ性の時は赤色になりますが、本剤の効果には影響ありません。

保管および取扱い上の注意

PTP品とビン入り品とがありますが、各々について次のことに注意すること。

PTP品、ビン入り品について

- (1)小児の手の届かない所に保管すること。
- (2)他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- (3)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。
- (4)箱やビンの「開封年月日」記入欄に、内袋（アルミの袋）やビンを開封した日付を記入すること。
- (5)一度内袋（アルミの袋）またはビンを開封した後は、品質保持の点から開封日より6 ヶ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。

共通事項解説〔10〕参照

共通事項解説〔11〕参照

共通事項解説〔14〕参照

共通事項解説〔15〕参照

共通事項解説〔16〕参照

【使用上の注意】

【解 説】

共通事項解説はこちら

PTP品について

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に箱に入れて保管すること。

共通事項解説〔9〕参照

ビン入り品について

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。

共通事項解説〔9〕参照

(2)ビンの中の詰め物は、フタをあけた後はすてること（詰め物を再びビンに入れると湿気を含み品質が変わるものになる。詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するためのものである）。

共通事項解説〔12〕参照

(3)服用のつどビンのフタをしっかりとめること（吸湿し品質が変わる）。

共通事項解説〔13〕参照